

シェルター施設

■東京キャットガーディアンには合計で300頭以上の猫が收容出来る3つのシェルターがあります。

第一 シェルター

受入れた猫はまず、附属動物病院のある第一シェルターに收容されます。

感染症の拡散を避けるため、ワクチン未接種の場合は一定期間を第一シェルターで過ごした後、ワクチン接種、不妊去勢手術を経て開放型シェルターで譲渡対象とします。

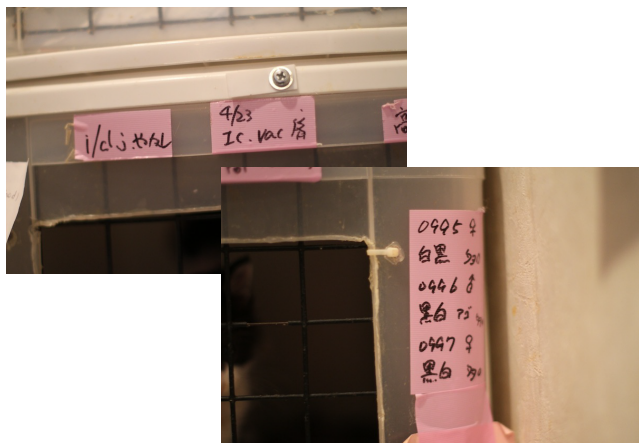
猫の出入りが多い環境の為、常に感染症のリスクを意識して、特に徹底した消毒と管理を行なっています。



收容したらまず体重測定、性別の確認、月齢により附属動物病院でワクチン、駆虫などの処置を行ないます。



同腹ごとにケージを分けて管理し、感染防止の為に同腹以外との接触はさせません。スタッフは徹底した消毒のもと、ケアを行ないます。



個体ごとに、与えるフードや、投薬状況、体重推移などをカルテ、ケージのラベルを使用して管理します。第一シェルターでは、子猫であれば200頭~250頭程度の猫を收容可能です。